

須磨民商NEWS

兵庫県西・北部豪雨災害支援

豪雨災害から1ヶ月の佐用町に、

「300足の靴」を被災者に届けました。

日本共産党3区候補の金田みねおさんのよびかけで、日高会長が長田のケミカルシューズの仲間に声をかけて婦人靴を中心に300足の靴を集めてくれました。9月11日午前8時半「日高シューズビル」で、新品の靴が提供され2台の車に運び込み佐用へと出発、丁度昼頃に佐用現地党事務所に到着、早速仮設事務所に町会議員が救援に入っているとの事で急遽仮設へと走りました。まだできたばかりの仮設で入居者は少なかったのですが二人の赤ちゃんを抱いた若いお母さんが「持ってた靴はみんな流されてしまった」「今履いてるサンダルしかない」と集まってきて「靴」選びがはじまりました。同じ靴はほとんどなく箱を開けるたびに目を輝かせて「宝探しみたい」と喜んでいただけました。



(会長) 震災時の苦しみもあり他人事ではなかった。自分も困った時シャツ1枚が本当に嬉しかったのを思い出し、自分ひとりではできなかったが、「水害で靴が流されているときいて靴を救援したい」と仲間に話すと、みんな気持ちよく集めてくれた。みんなに声をかけることで被災者の人に少しでもよろこんでもらえてよかった。

